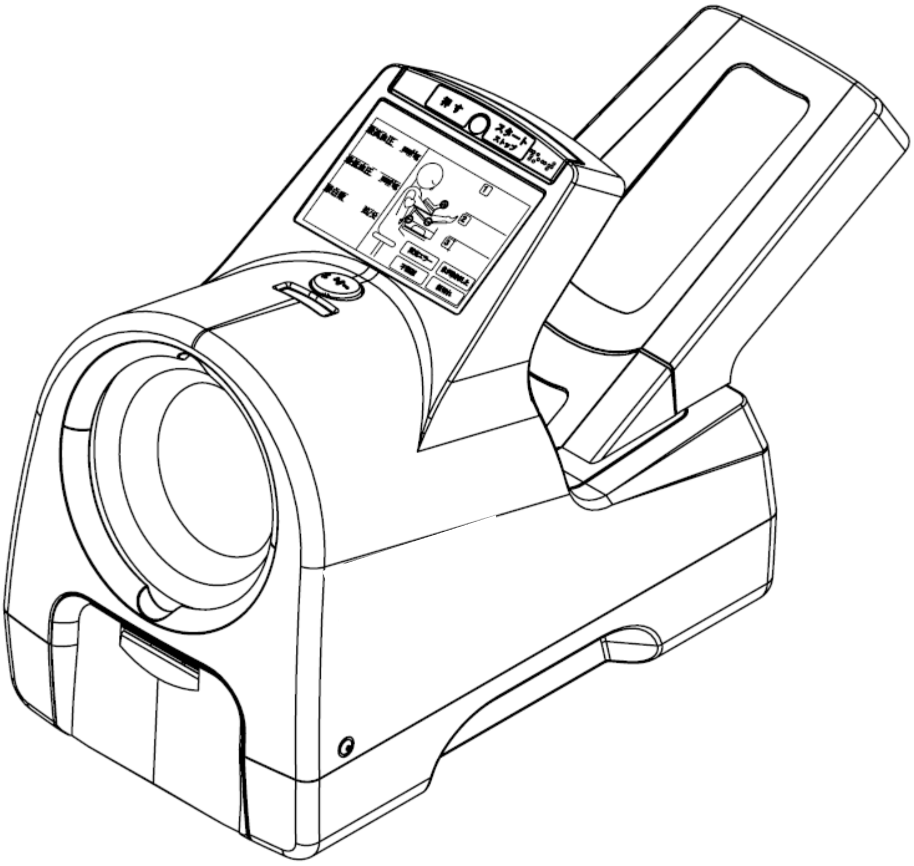
TANITA®
健康をはかる

全自動血圧計

BP－900

取扱説明書



重　要

正しく安全にお使いいただくため，ご使用の前に必ず本書をよくお読みください。
また，お読みになった後は，本体の近くの見やすい所に大切に保管してください。

はじめに

このたびは弊社製品をお求めいただき，まことにありがとうございました。不明の点がございましたら販売店または最寄りの営業所までお問い合わせください。

- 本書の内容の一部、又は全部を無断で転載することは著作権法により禁止されています。
- 本書の内容は，将来予告なしに変更する場合があります。
- 本機の消耗品およびオプション品を除く保証期間は保証書に記載の通りです。
- 保証期間中におきましても下記事項に関する故障、又は破損につきましては保証外となります。
  - ・弊社，又は弊社指定業者以外による設置，移設，保守，改造および修理に基づくもの。
  - ・弊社が納入した製品以外の他社製品が原因で弊社の製品が受けたもの。
  - ・転倒，操作上のミス，誤用など使用者の責任と見なされるもの。
  - ・火災，自然災害によるもの。
- 保証は本体のハードウェアの保証のみであり，本機を運用の結果もたらされたいかなる損害，損失に対しても責任は負いません。
- 本機は日本国内での使用を前提に設計されていますので、海外での使用は出来ません。

医用電子機器使用上（安全及び危険防止）の注意事項

「本文章」は薬発第４９５号厚生省薬務局長通知（昭和４７年6月１日）によって医用電子機器に添付するよう義務つけられている『医用電子機器の使用上（安全及び危険防止）の注意事項』であります。装置を使用する際にはこの注意事項を守って正しい取扱をされるようお願い致します。

１．熟練した者以外は機器を使用しないでください。
２．機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
（１）水のかからない場所に設置すること。
（２）気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
（３）傾斜、振動、衝撃、（運搬時も含む）など安定状態に注意すること。
（４）化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
（５）環境は静かで、室温は寒さ、暑さを感じない程度の場所に設置すること。
３．機器を使用する前には、次の事項に注意してください。
（１）スイッチの接触状況、メーター類の点検を行い、機器の正確な作動を確認すること。
（２）すべてのコードの接続が正確でかつ安全であることを確認すること。
（３）他の機器の併用は、正確な判断又は診断を誤らせたり、危険を起こしたりする恐れがあるので、十分注意をすること。
（４）測定する直前の運動、食事、タバコ、寒冷ばくろ等、血圧測定に影響することは避ける様にすること。
（５）尿意や便意を有する時は、血圧が高く変化していますので排尿又は排便の後の心理的、肉体的にリラックスした時に測定すること。
（６）測定方法やその測定結果は、自分で判断しないで専門医に相談すること。
４．機器の使用中は次の事項に注意してください。
（１）血圧を測定しているときは、話したり、動いたりせず安静にすること。
（２）機器全般及び患者に異常のないことを絶えず注意すること。
（３）機器及び患者に異常が発見されたときは患者に安全な状態で、機器の作動を止めるなど、適切な措置をとること。
（４）近くで携帯電話などを使用しないこと。
５．機器の使用後は次の事項に注意してください。
（１）機器は次回の使用に支障のないよう、必ず清掃しておくこと。
（２）保管場所については次の事項に注意すること。
Ⅰ 水のかからない場所に保管すること。
Ⅱ 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
Ⅲ 傾斜、振動、衝撃、（運搬時も含む）など安定状態に注意すること。
Ⅳ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
（３）コード類の取り外しに際しては、コードを持って引くなど無理な力をかけないこと。
（４）付属品、コードなどは清浄したのち、整理してまとめておくこと。
６．故障の時は勝手にいじらず、適切な処置を行い、当社のサービス員に連絡してください。
７．機器は絶対に改造しないでください。
８．保守点検上の注意
（１）機器、部品は必ず定期点検を行うこと。
（２）長く使用していない機器の再使用は、使用前に正常動作することを確認すること。
９．その他
（１）取扱説明書に従い、正しい操作で使用すること。

目　次

安全のための注意事項 4
１．はじめに 9
２．特徴 9
３．構成 10
オプション(別売品) 10
４．各部の名称と機能 11
前面 11
背面 12
底面 13
５．セットアップ 14
アームレストの取り付け 14
台への設置 14
電源の接続 15
記録紙のセット 15
盗難防止処置 17
６．始業前点検 17
7．血圧を測定する 19
腕帯に腕を通す 19
姿勢を確認する 19
スタートストップボタンを押す 20
測定中から測定のおわり 21
測定を中止したい時（非常停止） 22
測定結果の見方 22
測定エラーの時 23
機器の異常について 24
8．設定変更 25
【はじめに】 25
【設定モードを起動する】 26
【設定するモード番号の選ぶ】 26
日付・時刻の調整（モード１） 27
音量の調整（モード２） 28
測定値の表示時間の設定（モード３） 29

プリンターの設定（モード４）......30
音声・ＢＧＭの設定（モード５）......33
設定値の初期化（モード６）......34
ソフトウェアのバージョンの表示（モード７）......34
【設定モードの終了】......34
9．カウンター機能の使い方......35
カウンターの表示......35
カウンターのクリア......35
10．通信機能の使い方......35
11．故障かな？と思ったときに......36
修理をご依頼される前に......36
どうしても問題が解決しないとき......38
12．日常のお手入れ......39
本体のお手入れ......39
腕帯布のお手入れ......39
プリンターヘッドの清掃......41
13．長期保存について......42
14．輸送について......42
15．廃棄について......42
16．製品保証／消耗品／保守点検......43
製品保証......43
消耗品......43
保守点検......43
17．主な仕様......44

安全のための注意事項

お使いになる前に必ずお読みください。

この取扱説明書および製品には，製品を安全に正しくお使いいただき，人体への危害や財産への損害を未然に防止するために図記号表示がされています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が重傷を負ったり、又は死亡する危険が切迫して生じたりすることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が重傷を負ったり、又は死亡したりする可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が傷害を負う可能性、及び物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

：　△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意事項(左図の場合は感電注意)が描かれています。

：　⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な注意事項(左図の場合は修理分解禁止)が描かれています。

：　●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な注意事項(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

重　要	：　誤って操作をすると悪影響があります。必ずお読みください。
補　足	：　付け加えたい事項や、詳しい説明があります。
参　照	：　参照先を示しています。

⚠ 危　険

引火や爆発の危険があります。

引火性ガスや麻酔薬等可燃性の高い気体が発生する場所、及び酸素テント、高圧酸素室内では本機を使用しないでください。

⚠ 警　告

異常時は電源を切り、電源プラグを抜いてください。

異常時（焦げ臭いにおいがしたり、煙が出ている時等）は速やかに下記の対応を取って下さい。

１）患者の安全を確保する
２）電源を切る。
３）電源プラグを抜く。
４）本機に「故障」などの表示を行う（再使用されないようにする）。
５）弊社取扱店又は最寄りの営業所に連絡する。

下記の場合は、電源プラグを抜き、使用を中止してください。

■電源プラグやケーブルが破損している
■電源プラグが濡れている
■電源プラグの差しこみがゆるい
火災や感電の原因となります。

電源プラグは、医用コンセント（接地極付き３ピン）に差し込んでください。

漏電の時、感電するおそれがあります。

電源プラグは、壁の交流１００Ｖのコンセントへ直接差し込んでください。

異なる電圧での使用や延長コード、タコ足配線は火災の原因となります。

電源プラグは、しっかりと根元まで差し込む。

火災や感電の原因となります。

電源プラグは濡れた手で抜き差ししないでください。

感電の恐れがあります。

濡れた手で本機に触れたり、使用したりしないでください。

ショート、錆、感電の原因となります。

プールサイド等、水または塩水のかかる所での使用は避けてください。

本体に水または塩水がかかった時、内部に入り込みショートし感電・故障・発火の原因となります。

結露がある場合は使用しないでください。

急な温度変化（冬の屋内等）を本体に加えると結露が発生し、誤動作・感電の原因となります。十分に順応させてからご使用ください。

汚れや差し込みプラグは清潔にしてください。

プラグの端子部に埃や水が付着していますと、火災の原因となります。

血液で汚染された腕帯布は使用しないでください。

使用者に感染症が伝染する恐れがあります。
汚染させた腕帯布は廃棄し、清潔な物を取り付けてください。

点滴や輸血を行っている腕では測定しないでください。

事故の原因になります。

傷や損傷のある腕や治療中の腕では測定しないでください。

症状が悪化する恐れがあります。
■骨折
■打撲
■捻挫
症状が悪化するだけでなく、感染症の伝染の原因になる恐れがあります。
■擦り傷・切り傷
■やけど
■皮膚病

注　意

	測定中に痛みを感じたり、気分が悪くなったら、すぐに「非常停止ボタン」を押してください。非常停止ボタンを押しても腕帯が開放されない場合は、電源を切り、カッターなどで腕帯部を切開して空気を抜いてください。 圧迫による腕への影響（内出血および末梢神経障害、他）の恐れがあります。
	以下の環境で使用してください。 ■温度：　１０～４０℃ ■湿度：　３０～８５％ＲＨ ■水のかからない場所 ■気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所 ■傾斜、振動、衝撃のない場所 ■化学薬品の保管や、ガスの発生しない場所
	以下の環境で保存・輸送してください。 ■温度：　－１０～６０℃ ■湿度：　　３０～９５％ＲＨ ■水のかからない場所 ■気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所 ■傾斜、振動、衝撃のない場所 ■化学薬品の保管や、ガスの発生しない場所
	下記の環境では使用できません。 ■大気圧以外 ■強い磁界や電界を受ける場所
	本機１ｍ以内に、携帯電話・トランシーバー等の無線機器を近づけないようにしてください。 誤動作を起こす可能性があります。

	腕帯布が破れている時、または取りついていない時は使用しないでください。 感電の恐れがあります。
	かならず始業前点検を行ってください。 事故の原因となります。
	お手入れは電源プラグを抜いて行ってください。 **お手入れ後は十分に乾燥したことを確認してから、使用してください。** 感電や火災の原因になります。
	分解・修理はしないでください。 当社修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。発火や異常動作をしてけがをするおそれがあります。また、薬事法により無断改造は禁じられています。
	当社指定以外の消耗品及びオプション品を取り付けないでください。 正常な動作は保証出来ません。また場合によっては危険です。
	腕帯部や表示部、アームレストを持って、本体を持ち歩かないでください。 本体の破損や、落下によるけがの原因になります。
	本機の上に物を置いたり、かぶせたりしないでください。 事故の原因になります。
	滑りやすい場所に設置しないでください。 事故の原因になります。
	架台やいすの上には立たないでください。 事故の原因になります。
	人が通るところに設置する際は、本体だけでなくアームレストが通行者にあたらないようにしてください。 事故の原因になります。
	他の機器を接続する場合は、十分に安全性を確かめてください。 感電の原因になります。
	電源ケーブルは下記に注意して配線してください。 ■本機の使用の妨げにならないようする。 ■無理に曲げない・ねじらない ■たばねない ■重い物を載せない ■転倒の原因にならないようにする
	電源プラグの抜き差しは、電源ケーブルをひっぱらない。 断線の原因になるだけでなく、ショートにより発煙・火災の原因になります。
	長期間使用しない時は、必ず電源プラグを抜いてください。 火災の原因になります。
	記録紙排出口をふさいだり、物をつめたりしないでください。 紙づまりにより、プリンターの故障や発煙・発火の原因になります。

	測定値は自分で判断せず、医師に相談してください。 健康を損なう恐れがあります。
	血圧測定以外の目的で使用しないでください。 事故の原因になります。
	生命に関わりのある判断を行う際の血圧測定に用いないでください。 用途が異なるため、事故の原因になります。
	乳幼児や意識のない人など、自分で意思表示のできない人には使用しないでください。 用途が異なるため、事故の原因になります。
	上腕部以外で測定をしないでください。 血圧は測定部位を圧迫して行いますので、他の部位で測定すると、正常に測定出来ず、けがをするおそれがあります。
	座位以外の姿勢で測定をしないでください。 正しい測定値が得られないだけでなく、事故の原因になります。
	カフが圧迫された状態で、強引に腕を抜かないでください。 測定終了時や測定中止時は、エアーが抜けてから腕を抜いてください。 けがをするおそれがあります。
	下記の方は使用できません。 ■腕の直径が５ｃｍ（腕回りが１７ｃｍ）以下の方、及び小学生以下の子供 ■腕に痙攣(けいれん)のある人 ■人工心肺を使用している患者
	下記の方は、測定値に誤差を生じたり、測定できない場合があります。医師に相談のうえ使用してください。 ■循環器疾患 ■不整脈のある人 ■妊娠中毒症 下記の方は、圧迫によるリスクが考えられます。医師に相談のうえ使用してください。 ■骨粗鬆症、骨に変形がある人 ■関節炎 ■重度の血行障害 ■透析治療患者 ■圧迫により腕に痕が残ると困る方 ■内出血しやすい方 ■血圧測定により障害をおったことがある方
	下記の場合、正しく測定出来ません。 ■測定中に体を動かした場合 ■測定中に話をした場合 ■厚手の長袖の服を着て測定した場合 ■袖をたくし上げ、腕を圧迫している場合 ■測定姿勢が正しくない場合 ■運動直後の場合 ■連続的に測定を行った場合 ■腕周りが３２ｃｍ以上の場合 ■騒がしい環境で測定をした場合

1．はじめに

このたびは全自動血圧計 BP-900 をお買い上げいただきましてありがとうございます。本機は腕を入れるだけで簡単に血圧が測定できる、全自動タイプの血圧計です。病院や診療所の外来、診察室、検診施設などでお使いいただけます。

安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

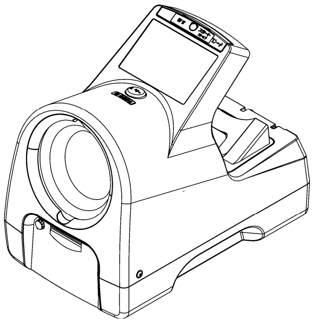
2．特徴

省スペース	・コンパクトボディ 設置場所を選ばない本体幅 242mm（業界最小幅）
使いやすさ	・誰にでも使える、わかる形 ・左右のどちらの腕でも測定可能 ・バリアフリー設計 車椅子のままでも使用可能 ・親切な操作説明機能 表示パネルとナレーションにより使用者をナビゲート ・微加圧制御機能 使用者の血圧に応じてソフトに加圧
高　精　度	・ダブル測定法式採用 医療現場で最も使われる聴診器による測定方式（リバロッチ方式）に、オシロメトリック方式を組み合わせ、様々な条件での精度が向上 ・振動検出センサー搭載 本体の振動を検出するセンサーにより、信頼性と安全性を向上
安　全　性	万が一の時のために…… ・大きくわかりやすい非常停止ボタン ・電源オフで腕が解放される安全構造 ・医療機器安全規格適合（IEC60601-1）

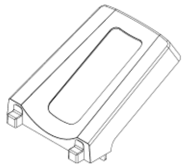
3. 構成

ご使用の前に構成品の確認をしてください。
万一不足のものがありましたら、販売店又は最寄りの営業所へご連絡ください。

1．本体：1台



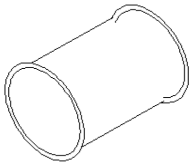
2．アームレスト：1個



3．アームレスト取付ネジ：3個
（出荷時に本体背面に仮取付済み）

4．電源ケーブル：1本

5．腕帯布：2個
（うち1個は出荷時に取付済み）



6．取扱説明書（本書）
7．医療機器添付文書
8．クイックマニュアル

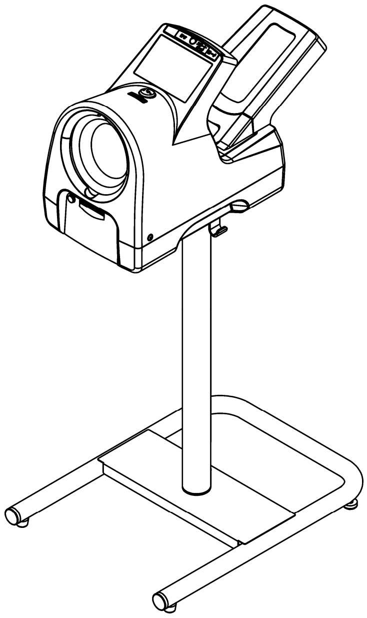
9．記録紙：1巻

10．ペーパーガイド

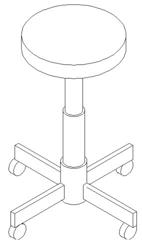
オプション(別売品)

オプション(別売品)のお求めは、販売店又は最寄りの営業所へお問い合わせください。

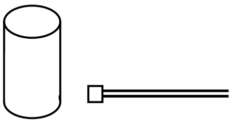
1．専用架台



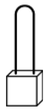
2．キャスター無し測定用椅子
3．キャスター付き測定用椅子



4．定期点検キット



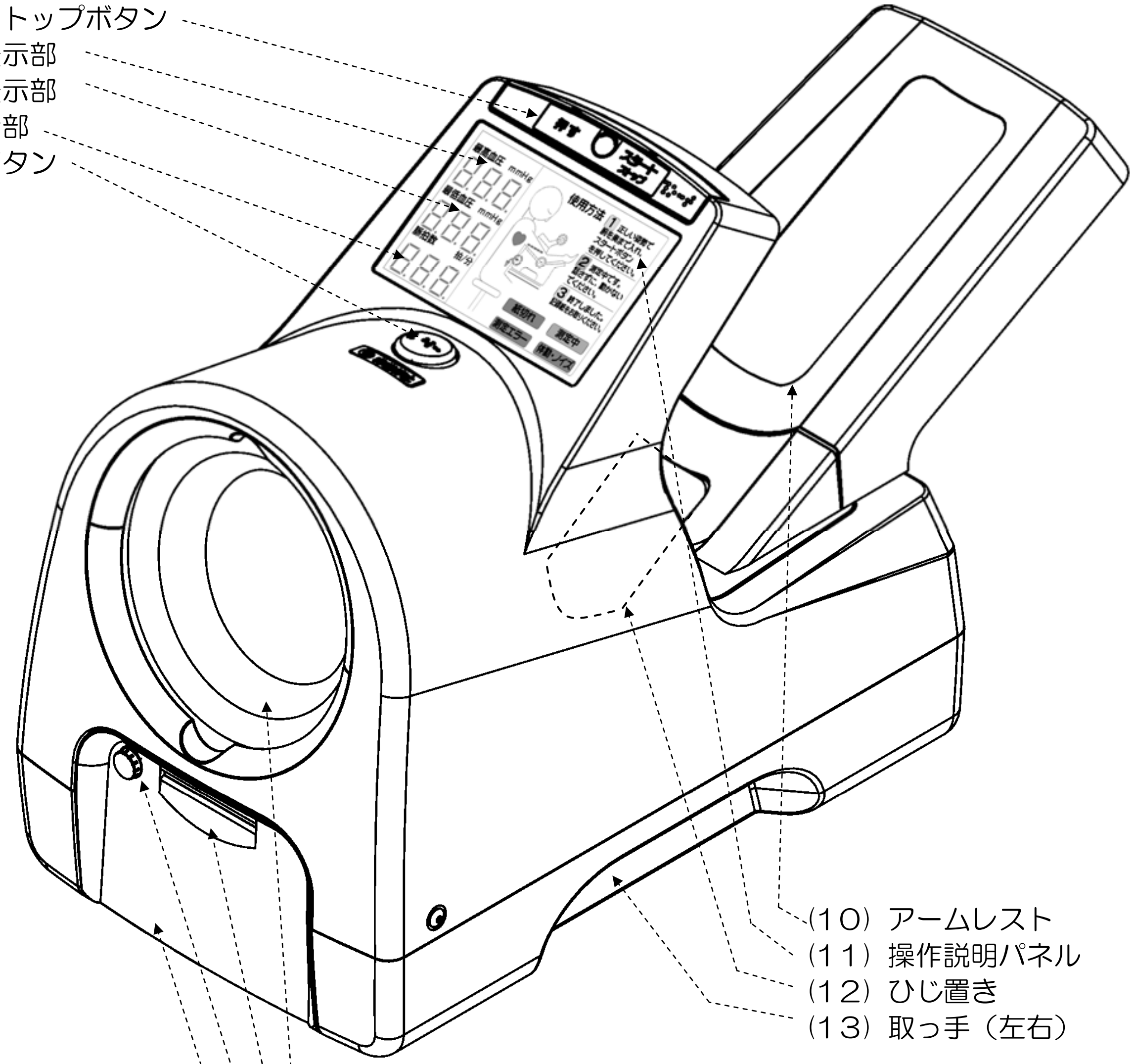
5．盗難防止用ロック



参照　消耗品については P.43 「16．製品保証／消耗品／保守点検」をご参照ください。

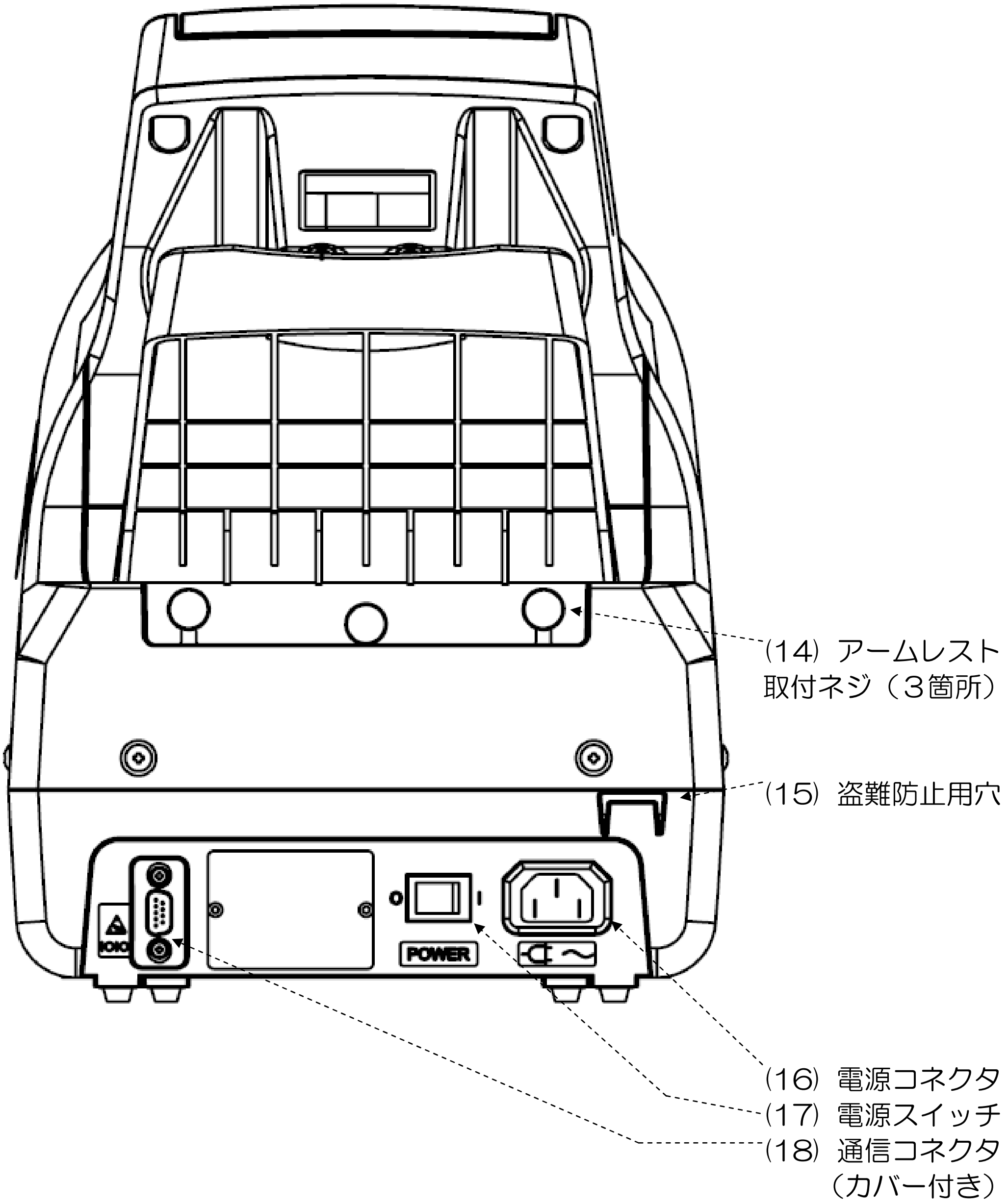
4. 各部の名称と機能

前面



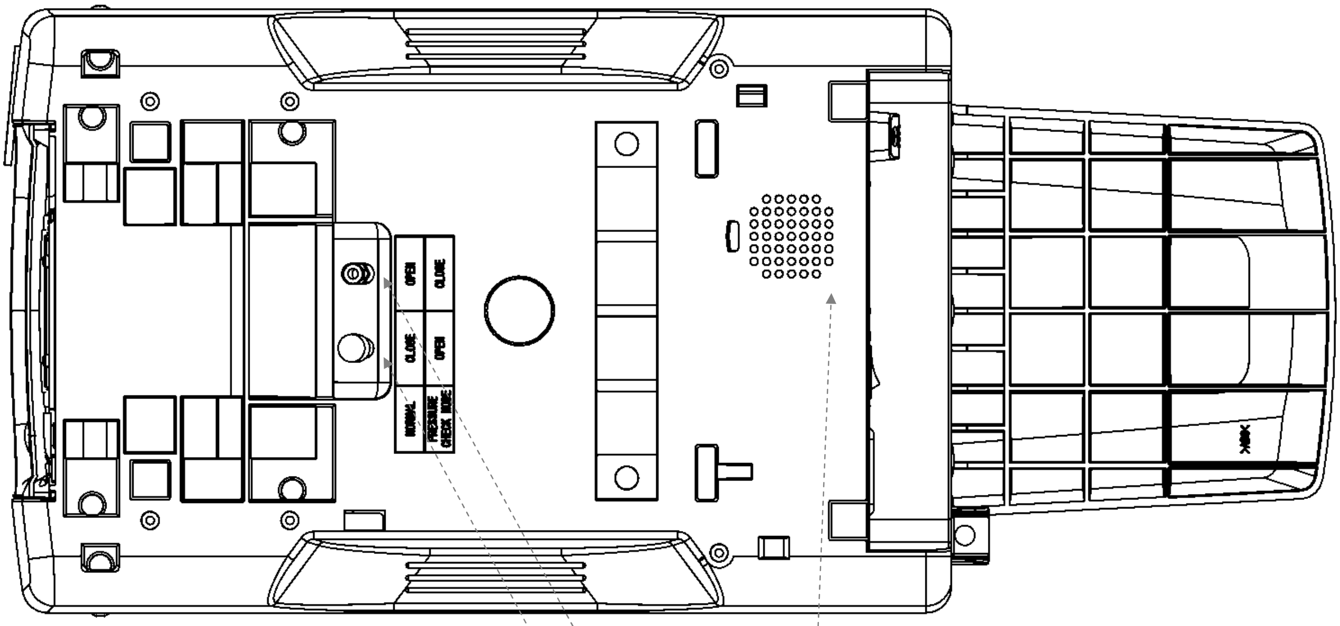
補 足　上図はアームレストを取り付けた状態です。

背面



補　足　上図はアームレストを取り付けた状態です。

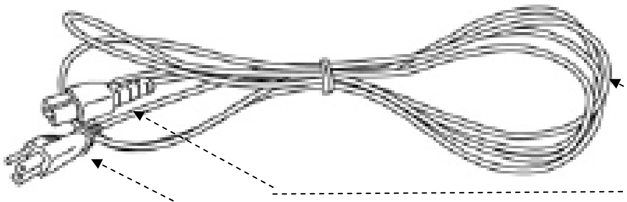
底面



(19) スピーカー

(20) 排気口
※通常使用時キャップなし（出荷時状態）

(21) 点検口
※通常使用時キャップあり（出荷時状態）



(22) 電源ケーブル

(23) 電源プラグ（本体電源コネクタ側）

(24) 電源プラグ（コンセント側）

補 足　上図はアームレストを取り付けた状態です。

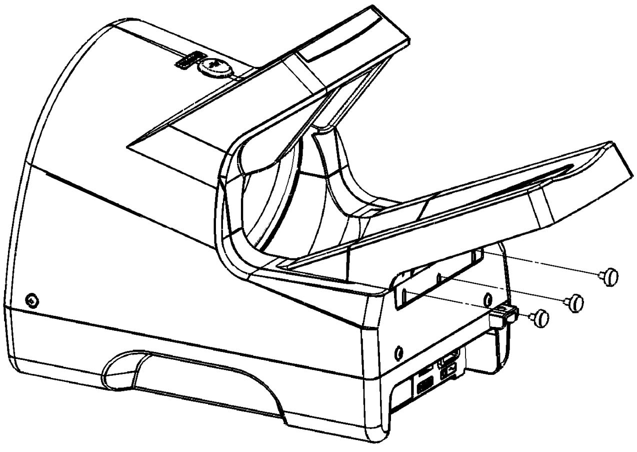
重 要　排気口および点検口は保守点検時にのみ使用します。
通常使用においては工場出荷状態のまま使用してください。
参 照　P.43 「保守点検」

5. セットアップ

重 要　巻頭のP.4「安全のための注意事項」をお読みのうえ、下記に従ってセットアップしてください。

重 要　本体は左右の取ってを使って、しっかり持ってください。取り扱いの際、時計やベルト、指輪は本体を傷つける可能性があります。

アームレストの取り付け



1．本体背面に仮固定されているアームレスト取付ネジ（３個）を取り外してください。

2．右図のとおり、アームレストを本体に差し込んでください。

3．アームレスト取付ネジ（３個）でアームレストを固定してください。

4．ガタつきがないことを確認してください。

台への設置

【専用架台を使用しない場合（お客様が設置台をご用意される場合）】

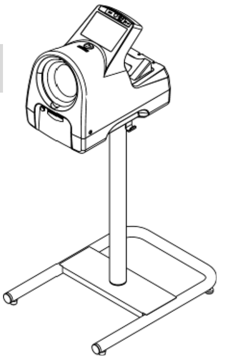
1．本機を安全に正しくお使いいただくために、設置台について以下を目安に確認してください。
- がたつきがないこと
- 振動のないこと
- 手をついた時に転倒の恐れがないこと
- 水平であること
- 強度的に十分であること
- 本機を載せる十分な面積を有していること
- 高さは７０ｃｍ程度であること

2．設置台の前面に本体の前面を合わせて設置してください。

補 足　安全面、測定精度、使いやすさの面から専用架台の使用を推奨します。

【専用架台を使用する場合】

架台付属の文書を参考に正しく設置してください。



電源の接続

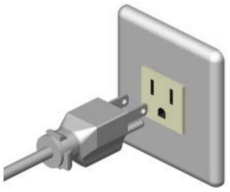
１．電源スイッチが切れていることを確認してください。

補　足　電源スイッチが“０”側に倒れている状態が“切り”です。

２．付属の電源ケーブルの電源プラグ（本体電源コネクタ側）を本体の電源コネクタに差し込んでください。

重　要　排気口および点検口は保守点検時にのみ使用します。

３．同ケーブルの電源プラグ（コンセント側）をコンセントに差し込んでください。



重　要　ＡＣ１００Ｖ以外のコンセントに接続しないでください

重　要　必ず接地極付き３ピンコンセントに接続してください

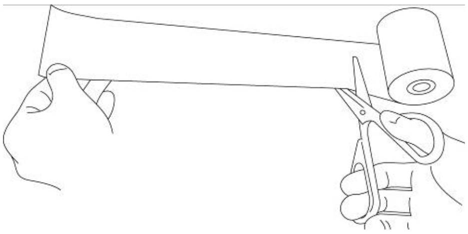
４．電源スイッチを入れてください。

補　足　電源スイッチが“１”側に倒れている状態が“入り”です。

５．電源をはずす時は１～４を逆の順番に行ってください。

記録紙のセット

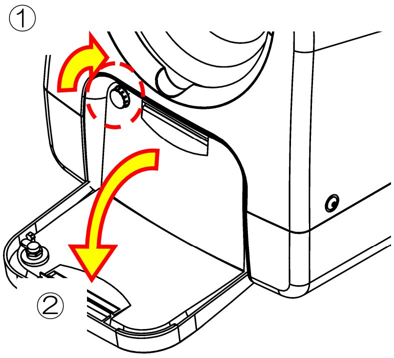
１．記録紙をご用意ください。



記録紙の巻きはじめにはノリがついています。
紙詰まりを防ぐために、あらかじめ２周分程度カットしてください。

２．プリンターカバーを開けてください。

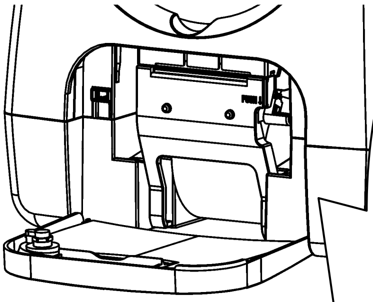
プリンターカバーオープナーを右に９０度回し､軽く押して、ロックを解除してください（｢カチッ｣という音がします）。
解除と同時にプリンターカバーが開きます。

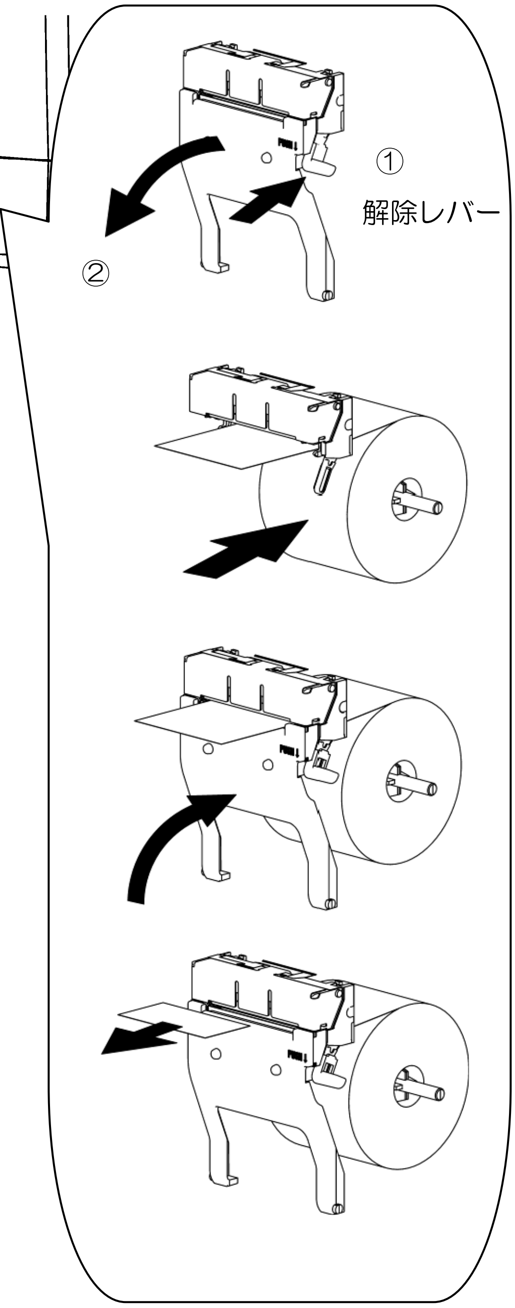


補　足　プリンターカバーオープナーは下記のためについています。
１）運搬中などの意図しないときに、プリンターカバーが開いてしまうことを防ぐ。
２）本機の管理者以外（こどもなど）が開け、プリンター部をいたずらし､機器を破損させたり怪我したりすることを軽減する。

3．プラテンを開けてください

解除レバーを押してください。





4．記録紙をセットしてください。

記録紙にペーパーガイドを通し､記録紙が上から出る向きで、ペーパーガイドが凹みにはまるまで、奥へ転がし入れてください。

5．プラテンを閉じてください。

記録紙が斜めにならないように、プラテンをロックしてください。

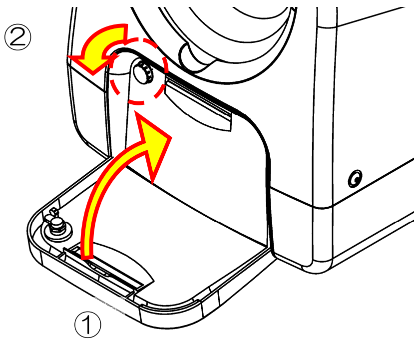
6．自動カットされた記録紙を取り除いてください。
（電源オンの状態にかぎる）

紙は軽く引っ張ると切り取ることができます。

7．プリンターカバーを閉じてください。

プリンターカバーを閉じ､カバーオープナー部を軽く押して、ロックしてください（「カチッ」という音がします）。
ロック後､カバーオープナーを左に９０度まわしてください。

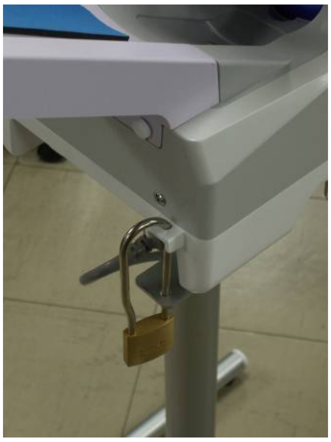
カバーがうまく閉じないときは、カバーオープナーを右方向に９０度回してください。
電源オフの状態の場合は、記録紙を記録紙排出口に通しながら、プリンターカバーを閉じてください。



盗難防止処置

本体背面の「盗難防止用穴」を利用することで、本機と架台、もしくはその他の物とチェーンやワイヤーでつなぐことができます。必要に応じて盗難防止処置を行ってください。

※使用例１
（アルファ社製 No.1000-40）



※使用例２
（ワイヤー）

補　足　本盗難防止穴は盗難防止を保障するものではありません。

6.　始業前点検

次ページの「始業前点検表」に従い、日々の使用前に点検を行ってください。

重　要　機器の安全性を確保するために、日々の使用前に必ず機器の点検を行ってください。

補　足　始業前点検は、腕帯部に腕を入れずに行ってください。

補　足　異常時は本機を電源からはずし、本紙背面の窓口にご連絡ください。

（コピーしてお使い下さい）

BP-900　始業前点検表

日時：　＿＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日　＿＿＿時＿＿＿分

実施者：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

▼電源投入前

No.	項目	判定	備考
1	本体の外装に破損や変形はないか	OK・NG	
2	腕帯布は取りついているか	OK・NG	
3	腕帯布に破れはないか	OK・NG	
4	腕帯布に汚れはないか（特に感染症の原因となるような）	OK・NG	
5	電源プラグはしっかり差さっているか	OK・NG	
6	電源プラグやケーブルに破損はないか	OK・NG	
7	記録紙排出口に異物はないか	OK・NG	

▼電源投入時

8	異音、異臭、煙の発生はないか	OK・NG	

▼電源投入後

9	測定値表示部が全点灯（８８８表示）のあと、ゼロ表示になったか	OK・NG	
10	スタートストップボタンで測定が始まり圧力が上昇したか また同ボタンにより測定を停止できるか （圧力表示が２０mmHg になる前に停止してください）	OK・NG	
11	スタートストップボタンで測定を始め、非常停止ボタンで停止できるか （圧力表示が２０mmHg になる前に停止してください）	OK・NG	
12	10、11 の停止後、表示はゼロか また、エアーは抜けているか	OK・NG	
13	10～12 を数回行い、動作に異常はないか	OK・NG	

総合判定 （１～１３のすべてが OK であること）	合・否	

補　足　始業前点検は“腕を入れない状態”で行ってください。

補　足　異常時は本機を電源からはずし、本紙背面の窓口にご連絡ください。

7. 血圧を測定する

安全に測定するための警告文をよくお読みください。該当する方は、警告を守ってください。

参　照　P.4「安全のための注意事項」

腕帯に腕を通す

1．測定する腕を決めてください。
　本機は右腕もしくは左腕で測定できますが、怪我や傷のある腕や点滴を行っている腕などは、危険ですので測定しないでください。

2．手のひらを上にして、腕を腕帯に通してください。

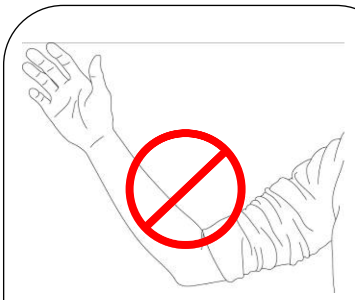
3．腕を奥まで入れ、ひじをひじ置きの上に載せてください。

3．アームレストに手を静かに載せてください。

姿勢を確認する

【正しく測るための姿勢】

【悪い例】



腕まくり

架台や設置台に足をかける

腕の入れ方が浅い

前かがみな姿勢

寒い環境

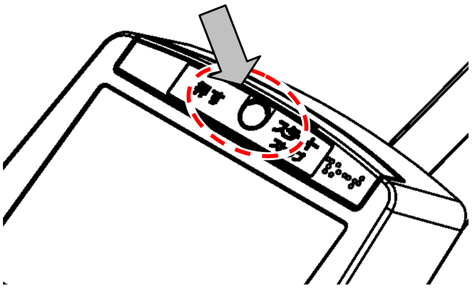
セーター等の厚着

歩いてきた直後

スタートストップボタンを押す

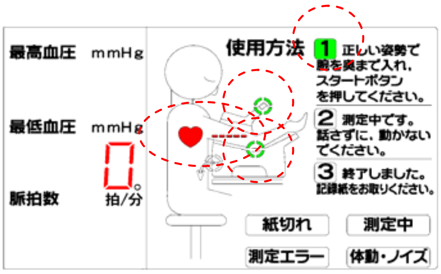
1．スタートストップボタンを１回押してください。

本体上面のスタートストップボタンの「○部」を、指先でしっかり押してください。



2．音声ガイダンスが始まります。
もう一度、深呼吸を行い、姿勢を正してください。

「血圧を測ります。
背筋を伸ばし、ひじを奥までしっかり入れ、
体を楽にしてください」



補　足　音声ガイダンスの設定が「２」あるいは「５」の場合は、直ぐに測定を開始します。

補　足　音声ガイダンス中にスタートストップボタンをもう一度押すと、スキップします。

参　照　P.33「音声・ＢＧＭの設定」

3．ガイダンス終了から数秒後、自動的に測定が始まります。

測定中から測定のおわり

1．測定のために、腕帯に空気が入り、腕を圧迫しはじめます。
体は動かさずに、そのままの姿勢を保って下さい。

> 「測定を開始します。測定中は動かず静かにしてください。
> 痛いと感じたら赤い非常停止ボタンを押してください」

腕帯の圧力が表示されます。

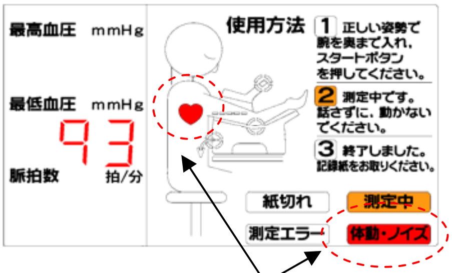
2．約１００mmHｇまで加圧し、その後、**微加圧制御**になります。

> **微加圧制御とは……**
> 使用者の脈を検知しながら、ゆっくり加圧するモードです。必要以上の加圧をしないため、測定部への負担が少ないのが特徴です。

3．目的圧に達すると加圧を停止し、減圧がはじまります。
同時に聴診音(コロトコフ音)と脈波の測定がはじまります。

加圧が不足していた場合は、自動的に再度加圧します。

> **加圧の上限値について……**
> 圧迫によるリスクを低減するために、本機は加圧の上限設定を搭載しています（出荷時設定：２２０mmHｇ）。設定値は変更することができます。詳しくは本紙背面の窓口にお問い合わせください。



検出した聴診音やノイズに応じて点灯します。

4．測定が終わると、腕帯の圧力が開放されます。
3のランプが点灯した後、腕を抜いてください。

測定を中止したい時（非常停止）

すみやかに非常停止ボタンを押してください。
腕帯から空気が抜け、腕を圧迫から開放します。

重　要　測定中、痛いと感じたり気分が悪くなったりした時は、慌てずに「非常停止ボタン」を押してください。

重　要　異常時は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
機器へ供給される電源がすべて遮断され、腕帯の空気も抜けます。

重　要　本装置にトラブルが発生し、腕帯への加圧値が３０１mmＨｇ以上、又は測定時間が２分３０秒を超えると、自動的に測定を強制終了させます。
その際、最低血圧表示部に“０”を３秒間点滅し、以下のガイダンスが流れます。

「機器に異常があります」

測定結果の見方

表示パネルに測定値が表示されます。
測定値は３０秒後、自動的に消えます（工場出荷時設定）。

「あなたの最高血圧はｘｘｘ、最低血圧は
ｘｘ、脈拍数はｘｘです。
測定値は自分で判断せず、医師に相談して
ください」

重　要　血圧は常に変動します。測定値は自分で判断せず、医師に相談してください。

重　要　連続測定は行わないでください。３分以上、間を開けてから測定してください。

補　足　測定値の表示時間は変更できます。

参　照　P.29「測定値の表示時間」

補　足　音声ガイダンスの設定が「4」あるいは「５」の場合は、測定値を読み上げません。

参　照　P.33「音声・ＢＧＭの設定」

測定結果の印字について

測定結果が記録紙排出口より出てきます。
印字が終わったことを確認のうえ、軽く引っ張り切り離してください。
印字のサイズは変更することができます。
印字中に記録紙を引っ張ったり、記録紙排出口をふさいだりすると、正しく印字されないだけでなく、紙づまりやプリンターの故障の原因になります。

参　照　Ｐ. 30「プリンターの設定（モード４）」

測定エラーの時

何らかの原因で測定出来なかった時、自動的にもう一度測り直す場合があります。
また、エラーの原因と思われる内容を、音声アナウンスでお知らせします。

“脈音が小さく、測定出来ませんでした。”
→ 腕帯に腕を通していない可能性があるため、測定を終了します。

“測定出来ませんでした。
もう一度測りますので、ひじを奥まで
しっかり入れてください。”
→ 脈音を聞き取りにくかったため、もう一度測り直します。ひじを奥までしっかり入れ、正しい測定姿勢を確認してください。
⇒P.19「姿勢を確認する」

“脈音が小さく、測定出来ませんでした。
脈音センサに異常の可能性があります。”
→ 脈音センサが故障している可能性があるため、測定を終了します。
⇒頻発する時は、本紙背面の窓口にご連絡ください。

“ノイズが入り、測定出来ませんでした。”
→ 体動により脈音センサがノイズを拾った可能性があるため、測定を終了します。
測定時は動かず静かにして、もう一度測り直してください。
→ 騒がしい環境に設置している場合、脈音センサがノイズを拾った可能性があるため、測定を終了します。設置環境を確認してください。
⇒P.14「5．セットアップ」

“圧力が上限設定値を超えたため、測定を
中止します。”
→ 血圧が高いため、加圧が上限値を超えた可能性があります。
⇒P.21「加圧の上限値について」

“記録紙がありません。印字を中止します。”
→ 記録紙が無い、又はプラテンアームが開いているため、印字を中止します。
プリンター内部を確認してください。

“もう少し圧力を上げます。
痛いと感じたら、非常停止ボタンを
押してください。”
→ もう少し圧力を加えて測定する必要があるため、再び圧力を上げます。
更に腕を圧迫するので、腕が痛いと感じたら安全のために非常停止ボタンを押して、測定を終了してください。
⇒P.22「測定を中止したい時（非常停止）」

“測定圧に達しませんでした。
機器を確認してください。”
→ 腕帯からエアーが漏れている可能性があるため、測定を終了します。
⇒頻発する時は、本紙背面の窓口にご連絡ください。

“機器に異常があります。”
→ 圧力が３０１mmHg 以上、又は測定時間が２分 30 秒以上の場合、機器に異常の可能性があるため、測定を終了します。
⇒頻発する時は、本紙背面の窓口にご連絡ください。

機器の異常について

機器に異常が生じた場合、機器の表示部に『Ｅｒｒ』を表示します。
速やかに機器の電源を落としてください。

重　要　正しく使用してもエラーが発生する場合、機器の故障が考えられます。ただちに使用を中止し、本紙背面の窓口にご連絡ください。
故障したままでの使用は重篤な事故を引き起こす可能性があります。

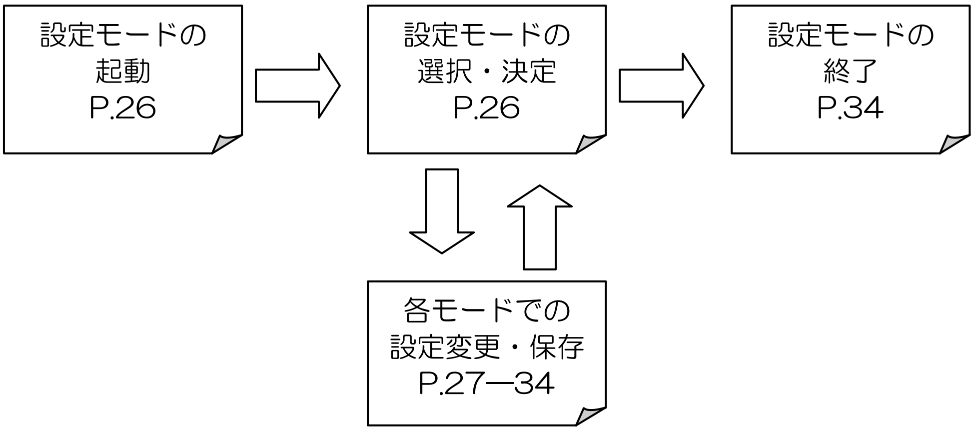
補　足　機器に『Ｅｒｒ』が表示された場合、電源を入れ直すまで使用できません。

補　足　電源起動時に、圧力センサーのセルフチェックを行います。その際、機器の表示部に『ＣＡＬ』を表示する場合があります。

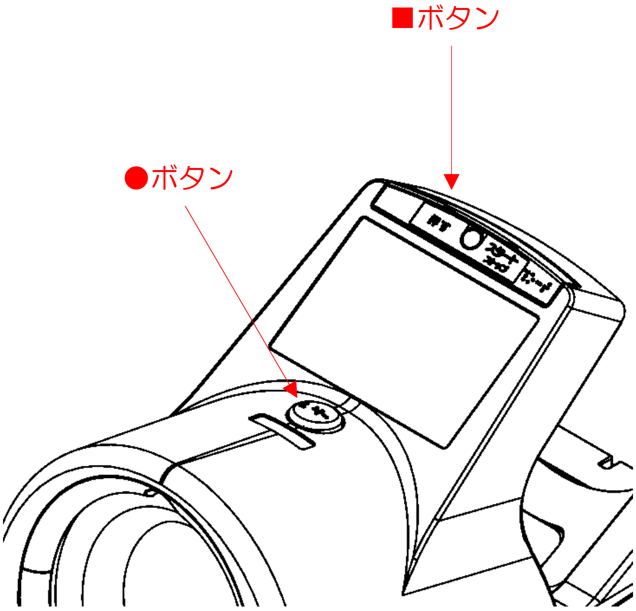
8. 設定変更

【はじめに】

設定変更は下記のような流れで行います。



この章では、「スタートストップボタン」を「■ボタン」、「非常停止ボタンを「●ボタン」と言い表しています。



【設定モードを起動する】

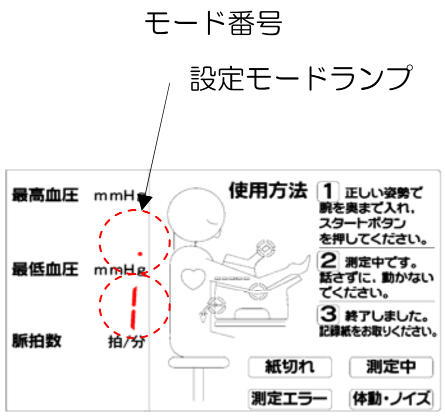
電源が入っている時は、一度電源を切ってください。

1．●ボタンを押したまま、電源を入れてください。
（●ボタンは押したままにしてください）

2．測定値表示部が全点灯（８８８表示）した後、本機のソフトウェアのバージョン（３桁）が表示されます。
（●ボタンはまだ押したままにしてください）

3．バージョンが表示されたら、３秒以内に■ボタンを押してください。
（●ボタンを押したまま、■ボタンを押し続けてください）

4．約５秒後、設定モードが起動します。
設定モードのランプが点灯し、最低血圧表示部に１が表示されます。
（ボタンを離してください）



補　足　最低血圧表示部の表示が「０」で、設定モードランプが消えている場合、設定モードは起動していません。もう一度電源を切り、操作をやり直してください。

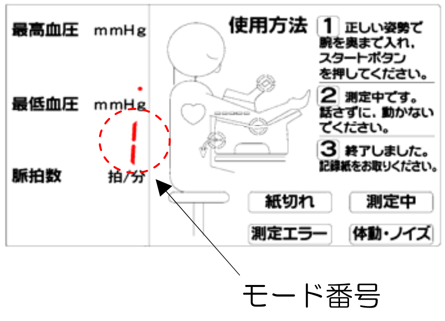
補　足　Ver.No.の表示後、３秒以上経ってから２つのボタンを同時に押し始めた場合、設定モードは起動しません。もう一度電源を切り、操作をやり直してください。

補　足　２つのボタンを押し続ける時間が５秒以内の場合、設定モードは起動しません。もう一度電源を切り、操作をやり直してください。

【設定するモード番号の選ぶ】

1．■ボタンで設定したいモード番号を選んでください。
現在選択されている番号は最低血圧表示部に表示されます。

2．●ボタンを押してください。
現在選択されているモード番号の設定に表示が切り替わります。



日付・時刻の調整（モード１）

【モードの選択】

日付・時刻の設定モードＮｏ.「１」を選択・決定してください。

参　照　P.25「8.　設定変更」

［年月日・時分の調整］

血圧表示部には以下のように表示され、「年」「月」「日」を設定します。
設定中は、設定箇所が点滅します。
（例：２０１０年１月２１日の場合）

①「年」の調整
■ボタンを１回押すと１年進みます。■で数字をあわし、●ボタンを押してください。
（数字は点滅から点灯へ変わります）

②「月」の調整
同様に、■ボタンで数字をあわせ、●ボタンを押してください。
（数字は点滅から点灯へ変わります）

③「日」の調整
同様に、■ボタンで数字をあわせ、●ボタンを押してください。
（表示が時分に切り替わります）

画面が切り替わります。

④「時」の調整
■ボタンを１回押すと１時間進みます。■ボタンで数字をあわせ、●ボタンを押してください。
（数字は点滅から点灯へ変わります）

⑤「分」の調整
同様に、■ボタンで数字をあわせ、●ボタンを押してください。
（数字は点滅から点灯へ変わります）

⑥「秒」の調整
同様に、■ボタンで数字をあわせ、●ボタンを押してください。
（表示が年月日に切り替わります）

補　足　日付・時刻を設定する際、■ボタンを１．５秒間以上押し続けますと、自動でカウントアップします。

補　足　「時」は２４時間表示です。

【日付・時刻の保存】

調整が終わりましたら、●ボタンを３秒間押し続けてください。
設定値が内部に保存され、次の設定モードＮｏ.「２」が表示されます。

重　要　この操作を行わずに電源を切ると、設定値は保存されません。

音量の調整（モード２）

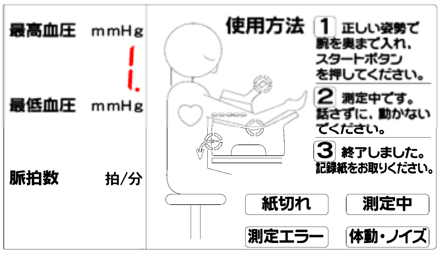
【モードの選択】

音量の調整モードＮo.「２」を選択・決定してください。
参　照　P.25「8. 設定変更」

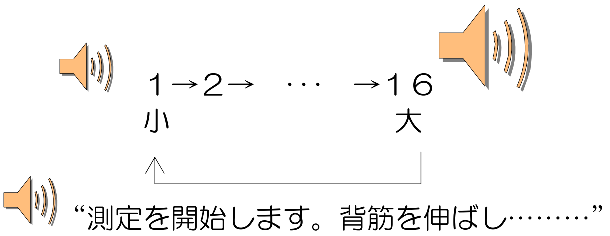
【音量の調整】

①
■ボタンを１回押すと音量が１レベルあがります。スピーカーから流れる音声を参考に、十分に聞き取れる音量に調整してください。

音量レベルは１～１６まであります。音量０は選択できません。



音量レベル（出荷時１）



【設定の保存】

調整が終わりましたら、●ボタンを３秒間押し続けてください。
設定値が内部に保存され、次の設定モードＮo.「３」が表示されます。

重　要　この操作を行わずに電源を切ると、設定値は保存されません。

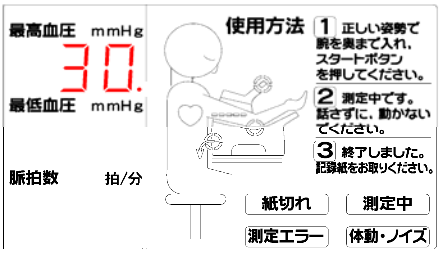
測定値の表示時間の設定（モード３）

【モードの選択】

測定値の表示時間設定モードＮｏ.「３」を選択・決定してください。
参　照　P.25「8.設定変更」

【測定値の表示時間の設定】

①
測定終了後に測定値が表示されている時間を変更することができます。
■ボタンを押して、時間を選択してください。



測定値の表示時間

「１０」→「３０」→「１８０」→「８８８」

- 「１０」秒間
- 「３０」秒間（出荷時）
- 「１８０」秒間
- 「８８８」次の測定者がスタートスイッチを押すまで測定値を表示します。

（「８８８」の次は「１０」に戻ります）

【設定の保存】

調整が終わりましたら、●ボタンを３秒間押し続けてください。
設定値が内部に保存され、次の設定モードＮｏ.「４」が表示されます。

重　要　この操作を行わずに電源を切ると、設定値は保存されません。

プリンターの設定（モード４）

【モードの選択】

プリンター設定モードＮｏ.｢４｣を選択・決定してください。

参　照　P.25｢8. 設定変更｣

【プリンターの設定】

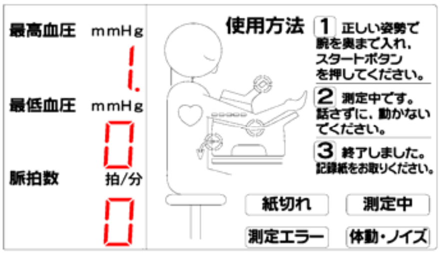
ここでは、プリンターに関する機能を設定できます。

①印字のＯＮ/ＯＦＦ

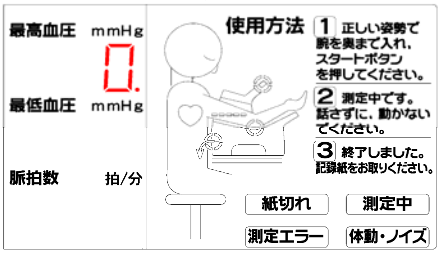
②紙のカット方式の選択

③印字サイズの選択

④オプション印字のＯＮ/OFF



画面が切り替わります。



① 印字のＯＮ／ＯＦＦ

■を押して、設定をあわせ、●ボタンを押してください。
（数字は点滅から点灯へ変わります）

【印字ＯＮ】
測定毎に測定値を印字します。測定できなかった場合は印字しません。
【印字ＯＦＦ】
印字機能が無効になります。紙切れの表示および音声も動作しなくなります。

｢０｣ → ｢１｣
OFF　　ON
　　　（出荷時）

② 紙のカット方式の選択

■を押して、設定をあわせ、●ボタンを押してください。
（数字は点滅から点灯へ変わります）

【パーシャルカット方式】
記録紙は１ヶ所で少しつながっています。軽く引っ張ると簡単に切り離せます。
【フルカット方式】
紙を完全に切り離します。

｢０｣ → ｢１｣
パーシャルカット方式（出荷時）　　フルカット方式

③ 印字サイズの選択

■を押して、設定をあわせ、●ボタンを押してください。
（表示がオプション印字の選択に切り替わります）

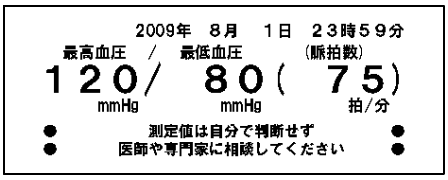
設定一覧

【０：標準サイズ】（出荷時）
↓
【１：エコサイズ】
↓
【２：ビッグサイズ】

※印字例

【標準サイズ（長さ約 59mm）】

【エコサイズ（長さ約 36mm）】



【ビッグサイズ（長さ約 104mm）】

④ オプション印字のＯＮ／ＯＦＦ

■を押して、設定をあわせ、●ボタンを押してください。
（表示が印字のＯＮ/ＯＦＦ選択に切り替わります）

【印字しない】

【印字する】
測定値の印字の後にオプション印字が追加されます。オプション印字の内容やサイズはカスタマイズすることができます。
詳しくは本紙背面の窓口にお問い合わせください。

※印字例

設定一覧

【０：印字しない】（出荷時）
↓
【１：印字する】

【設定の保存】

調整が終わりましたら、●ボタンを３秒間押し続けてください。
設定値が内部に保存され、次の設定モードＮｏ.｢５｣が表示されます。

重　要　この操作を行わずに電源を切ると、設定値は保存されません。

音声・ＢＧＭの設定（モード５）

【モードの選択】

音声ガイダンスの設定モードＮｏ.「５」を選択・決定してください。

参　照　P.25「8. 設定変更」

【音声・ＢＧＭの設定】

ここでは音声ガイダンスとＢＧＭについての設定を変更できます。

①音声ガイダンスの選択

②ＢＧＭのＯＮ/ＯＦＦ

① 音声ガイダンスの選択

各音声ガイダンスの有無を変更することができます。
■を押して、設定をあわせ、●ボタンを押してください。
（数字は点滅から点灯へ変わります）

【音声ガイダンスの内容】

①測定前
「血圧を測ります。背筋を伸ばし、ひじを奥まで
しっかり入れ、体を楽にしてください」

②測定中
「ピッ（脈音検出音）」

③測定後
「あなたの最高血圧は×××、最低血圧は×××、
脈拍数は×××です。
測定値は自分で判断せず、医師に相談してください」

設定一覧

【１：すべて発音（①+②+③）】
（出荷時）
↓
【２：①を省く　（　②+③）】
↓
【３：②を省く　（①　③）】
↓
【４：③を省く　（①+②　）】
↓
【５：すべて省く（　な　し　）】

② ＢＧＭのＯＮ／ＯＦＦ

ＢＧＭのＯＮ/ＯＦＦを変更できます。
■を押して、設定をあわせ、●ボタンを押してください。
（数字は点滅から点灯へ変わります）

【ＢＧＭあり】
測定中にＢＧＭが流れます。
【ＢＧＭなし】
測定中にＢＧＭは流れません。

設定一覧

【０：ＢＧＭなし】
↓
【１：ＢＧＭあり】（出荷時）

【設定の保存】

調整が終わりましたら、●ボタンを３秒間押し続けてください。
設定値が内部に保存され、次の設定モードＮｏ.「６」が表示されます。

重　要　この操作を行わずに電源を切ると、設定値は保存されません。

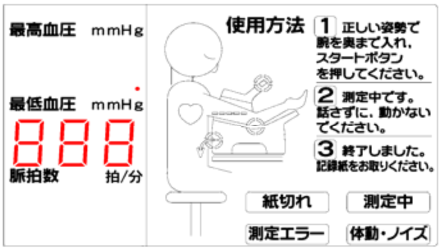
設定値の初期化（モード６）

【初期化モードの選択】

設定値の初期化モードＮｏ.｢６｣を選択・決定してください。

参照　P.25「8. 設定変更」

【初期化の設定】



設定モードの設定値を全て初期化（出荷時状態）します。
また、測定回数カウンターを０回にクリアします。

■ボタンと●ボタンを同時に押し、そのまま５秒以上保持してください。

表示が「---」になり、「ピッ」と音が鳴りましたら、初期化の準備完了です。

初期化したくない場合は、電源を切ってください。

重要　初期化されると、現在の設定値は全てクリアされます。
設定値を変更したくない場合やカウンターを残したい場合は、この操作を行わないでください。

参照　P.35「9. カウンター機能の使い方」

【初期化の完了】

●ボタンを３秒間押し続けてください。
初期化された設定値が内部に保存され、次の設定モードＮｏ.｢７｣が表示されます。

重要　この操作を行わずに電源を切ると、設定値は保存されません。

ソフトウェアのバージョンの表示（モード７）

通常は使用しません。
非常停止ボタンを３秒間押し続け、モード選択に戻ってください。

【設定モードの終了】

各種設定が全て完了しましたら電源を切り、電源を再投入してください。

9. カウンター機能の使い方

本機は、測定回数を表示させるカウンター機能を搭載しています。
- カウンターは測定毎に１増加します。
- 最大で 999,999 までカウントします。超えた場合は０に戻ります。
- 電源を切っても消えません。
- “カウンターのクリア”を行うことで０に戻ります。

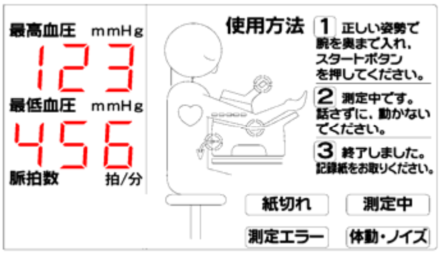
カウンターの表示

１．待機状態で非常停止ボタンを３秒間以上押し続けてください。

２．測定回数カウンターが、最高血圧・最低血圧表示部に表示されたら、非常停止ボタンを離してください。

最高血圧表示部：100000、10000、1000 の位
最低血圧表示部：　100、　10、　1 の位

３．測定回数カウンターは約５秒間点滅表示した後、自動的に待機状態に戻り、“０”を表示します。



表示例：　１２３，４５６回

カウンターのクリア

１．測定回数カウンターが表示されている間に、非常停止ボタンを３秒間押し続けてください。

２．測定回数カウンターがクリアされますと、“０”を点滅表示した後、待機状態に戻り、“０”を表示します。

10. 通信機能の使い方

本機は背面の通信コネクタより、測定結果を出力することが出来ます。
通信機能の詳細については、本紙背面の窓口にお問い合わせください。

11. 故障かな？と思ったときに

修理をご依頼される前に

修理をご依頼される前にもう一度お確かめください。

症状	確認	対処
スピーカーから音声が聞こえない	音量レベルの設定が小さくなっていませんか？	設置場所に適した音量レベルに設定してください。 ⇒P.28「音量の調整」
	音量レベルの設定を変えても、音声アナウンスが全く聞こえない。	スピーカーが故障している可能性があり、交換が必要です。 ⇒本紙背面の窓口にご連絡ください。
印字が出来ない	紙切れお知らせランプが点滅していませんか？	紙切れ、又はプラテンアームがしっかり閉まっていない可能性があります。確認してください。
	プリンターヘッドや、記録紙排出口に紙が詰まっていませんか？	紙を取り除き、プリンターヘッドのクリーニングをしてください。 ⇒P.42「プリンターヘッドの清掃」
	記録紙の向きは合っていますか？	紙がセットされていても、紙面が逆では印字されません。
	プリント機能の設定がOFFになっていませんか？	プリント機能をONに設定してください。 ⇒P.30「プリンターの設定」
電源スイッチを入れても、本体に電源が入らない	電源ケーブルはコンセントに接続されていますか？	電源コードがコンセントから抜け落ちている可能性があります。 ⇒P.15「電源の接続」
	電源コードはコンセントにしっかり接続されている。	本体内のヒューズが切れている可能性があり、交換が必要です。 ⇒本紙背面の窓口にご連絡ください。
何度測定しても測定値がばらつく	本体を騒がしい環境に設置していませんか？	設置した台が揺れたり、騒がしい部屋の中で測定したりすると、ノイズを拾って、正しく測定出来ない事があります。 ⇒P.14「5．セットアップ」

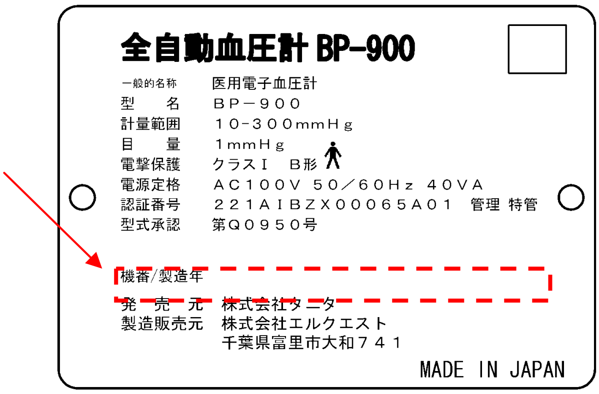
測定値がいつもと違う気がする	正しい姿勢で測定していますか？	推奨する姿勢で測定してください。また、測定中は静かにしてください。 ⇒P.19「姿勢を確認する」
	腕を真っ直ぐに伸ばして測定していませんか？	腕は真っ直ぐに伸ばさず、 推奨する姿勢で測定してください。 ⇒P.19「姿勢を確認する」
	１回目の測定値より２回目の測定値の方が、低めに出る。	体がリラックスしてくると、 血圧は少し下がるので、特に問題はありません。
	厚手のセーターや上着を着たまま測定をしていませんか？	厚手の衣服は脱いでから、測定してください。脈音が聞き取りにくく、 正しく測定出来ません。 ⇒P.19「姿勢を確認する」
	薄手の衣服を着ているが腕まくりをして測定をしていませんか？	腕まくりをすると腕を圧迫するので、 まくらずにそのまま測定して ください。 ⇒P.19「姿勢を確認する」
「Ｅｒｒ」が表示され､なにも操作できない	機器を正しく使用していますか？	機器を正しく使用してもエラーが発生する場合、機器の故障が考えられます。 ⇒P.39「どうしても問題が解決しないとき」

どうしても問題が解決しないとき

前章の説明に従っても正常に動作しない場合は、故障が考えられます。
本紙背面の窓口にご連絡ください。

ご連絡の際には、次のことをお伝えください。

製品名	BP-900
機番	本体背面の機器銘板に記載
内容	トラブルの詳しい状況、対処内容、その結果



重 要 本機をご自分で修理したり分解したりすると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

重 要 取扱説明書と異なる使用による故障等と判断される場合は有償修理とさせて頂きます。

重 要 梱包箱および梱包材は、本装置をご使用期間中必ず保管してください。
保守点検又は修理などによるご返却の際には、必ず本梱包箱及び梱包材をご使用ください。

12. 日常のお手入れ

重　要　機器のお手入れをする際は、必ず電源プラグを抜いてください。

本体のお手入れ

「乾いたやわらかい布」か「中性洗剤に浸しよく絞った布」、または「エタノールをしみ込ませた柔らかい布」で清掃してください。

重　要　シンナー、ベンジン等の溶剤を使用しないでください。これらの溶剤は製品を傷めてしまいます。

腕帯布のお手入れ

・腕帯布の汚れが目立つ時は、新しい腕帯布もしくは洗濯済みの清潔な腕帯布に交換してください。

・腕帯布が血液などで汚染されている場合は、その腕帯布を取り外したのち廃棄してください。

【洗濯の方法】

1．水洗いまたは中性洗剤を使用して、手洗いで行ってください。

2．洗剤が残らないよう十分にすすいでください。

3．脱水を行い、自然乾燥で乾かしてください。

4．切れや破れがないことを確認してから使用してください。

重　要　脱水機、乾燥機、電子レンジ等による脱水、乾燥はおやめください。可燃性素材の為、発火の可能性があります。

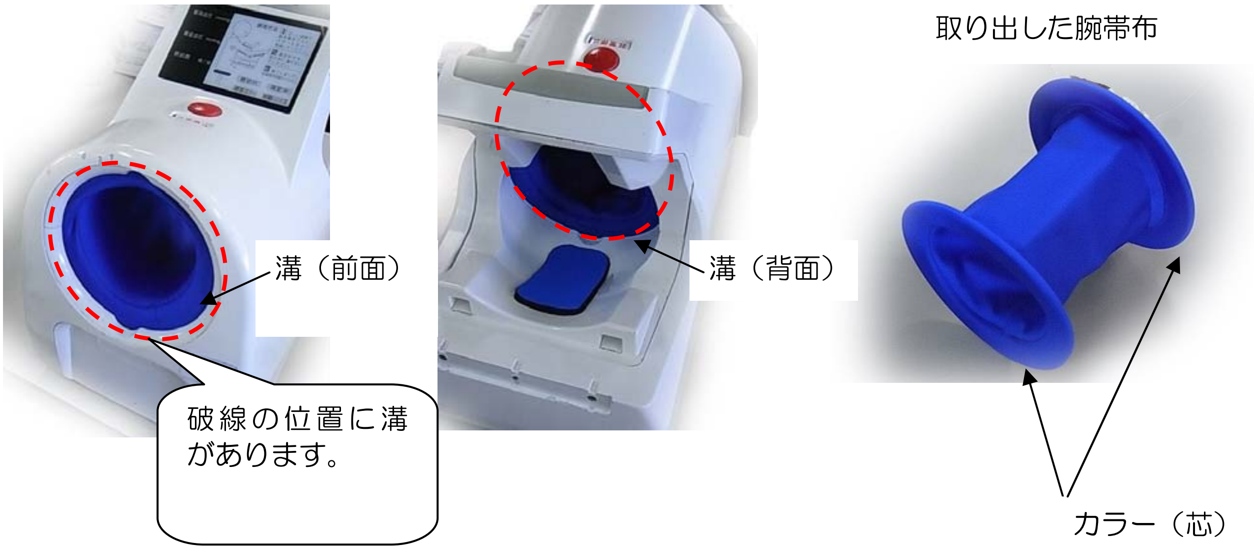
重　要　腕帯布に切れや破れがある場合は使用しないでください。

補　足　腕帯布は消耗品です。破れたり古くなりましたら新しい腕帯布をお求め頂き、交換してください。

参　照　P.43「消耗品」

【交換の手順】

本体の測定部の前後には溝があり、腕帯布はそこにはめ込まれています。

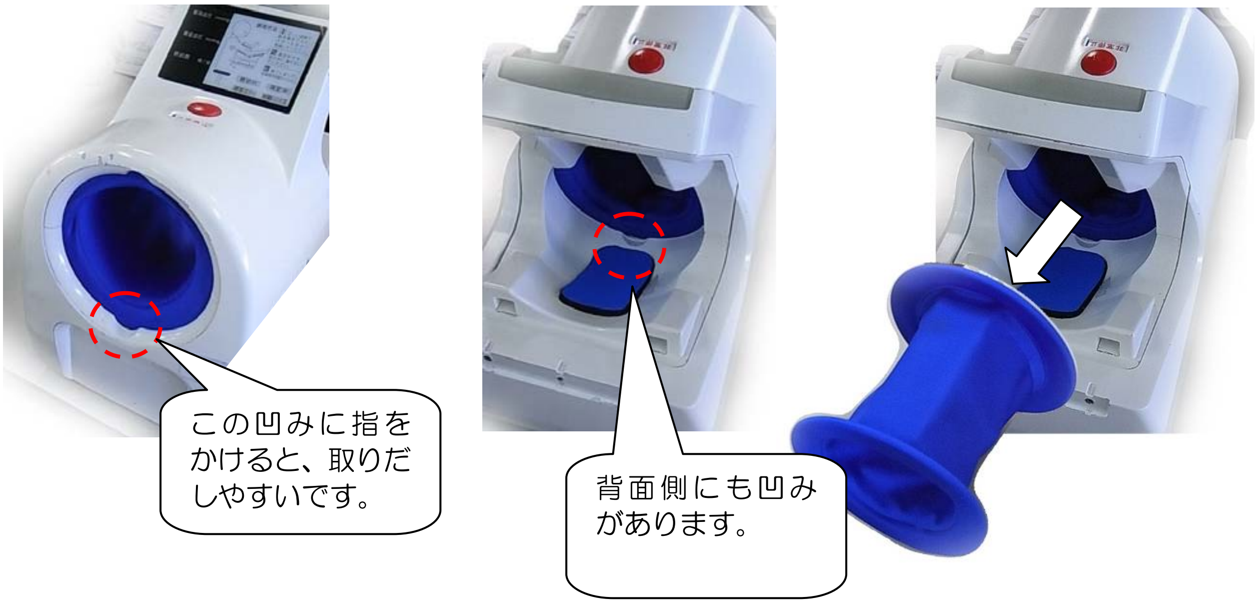


【腕帯布の取り出し方】

1． 本体前側の溝から、腕帯布のカラーをはずしてください。

2． 同様に、本体背面の溝から、腕帯布のカラーをはずしてください。

3． 本体背面側から、腕帯布をそっと取り出してください。

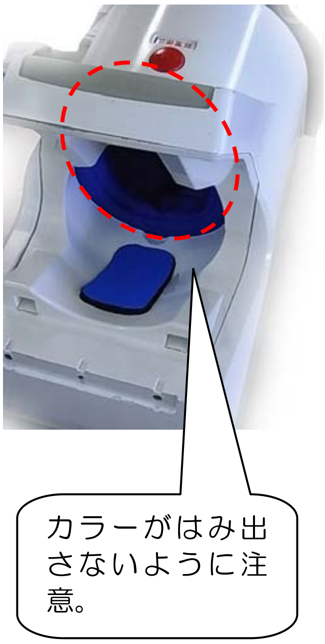


【腕帯布のつけ方】

1．本体前面側から、測定部に
　腕帯布を通してください。

2．前面の溝にカラーを
　はめ込んでください。

3．同様に背面の溝に
　カラーをはめ込んで
　ください。



重　要　腕帯部内側の部品に引っ掛からないように、注意して装着してください。

重　要　濡れた腕帯布、切れや破れのある腕帯布、汚れている腕帯布は使用しないでください。

プリンターヘッドの清掃

　記録紙カスや異物が付着したまま使用し続けますと、不具合が起きたり、プリンターの寿命を損なったりする場合があります。それらが付着した場合は、下記の手順に従いプリンターヘッドをクリーニングしてください。

1．作業前に帯電している静電気を逃がしてください。
　（アースバンドをご利用になるのが理想です）

2．プリンターカバーを開けてください。

3．プラテンアームのロックを解除してください。

4．エタノールを染み込ませた綿棒で、ヘッド表面を軽くふき取ってください。

5．エタノールが完全に乾くまでお待ちください。

6．プラテンアームをセットしてください。

7．プリンターカバーを閉めてください。

重　要　清掃をしても正常に印字できない場合は、本紙背面の窓口にご連絡ください。

13. 長期保存について

・付属の梱包箱に入れ、指定の環境で保存してください。
・１０ｃｍほどにカットした記録紙をプリンターにセットしてください。
・再使用の際は、本書のセットアップ、動作確認を行ってからご使用ください。

参　照　P.14「５．セットアップ」

14. 輸送について

・付属の梱包箱に入れ、指定の環境で輸送してください。
・記録紙(巻き)は本体から取り出してください。
・１０ｃｍほどにカットした記録紙をプリンターにセットしてください。

重　要　破損した梱包箱を使用しないでください。

15. 廃棄について

●廃棄される前にお読みください。

①梱包箱、梱包材
ダンボールや紙等、環境への影響が少ない材質のものを使用しています。
廃棄する際は材質毎に分別し、国及び地方自治体の法律、条例等に従って処分してください。

②本体及び、付属品
プラスチックや金属、電子部品により構成されています。
廃棄の際には、販売店または最寄りの営業所または各地方自治体にお問い合わせください。

16. 製品保証／消耗品／保守点検

製品保証

【保証条項】

１．本製品の保証期間は１年間です。ただし、以下の部品および消耗品については対象外となります。

番号	個数	部　品　名	備　考
1	1	サーマルプリンター	
2	2	マイクロホンａｓｓｙ	
3	1	スタートストップボタンａｓｓｙ	
4	1	非常停止ボタンａｓｓｙ	
5	1	Wバッグ	

２．下記事項に関する故障または破損につきましては保証外となります。

・弊社、又は弊社指定業者以外による設置、移設、保守、改造および修理に基づくもの。
・弊社が納入した製品以外の他社製品が原因で弊社の製品が受けたもの。
・転倒、操作上のミス、誤用など使用者の責任とみなされるもの。
・火災、自然災害によるもの。

消耗品

消耗品のお求めは、販売店または最寄りの営業所へお問い合わせください。

番号	個数	部　品　名	備　考
1	1	BP-900 用腕帯布	（２枚入り）
2	1	BP-900 用ひじパッド	
3	1	BP-900 用アームレストパッド	
4	1	記録紙 MR-58L　１箱	（１２巻入り）

保守点検

・始業前点検

日々の使用前に点検を行ってください。

参　照　P.17「6．始業前点検」

・定期点検

本製品の性能および安全性を確保するために、１年もしくは測定回数 3 万回毎に定期点検を行ってください。定期点検は下記の方法があります。

１）弊社お客様サービス相談窓口に依頼する。
点検の結果、必要に応じて調整や修理・部品交換を行います。
依頼の際は、本紙背面の窓口にご連絡ください。

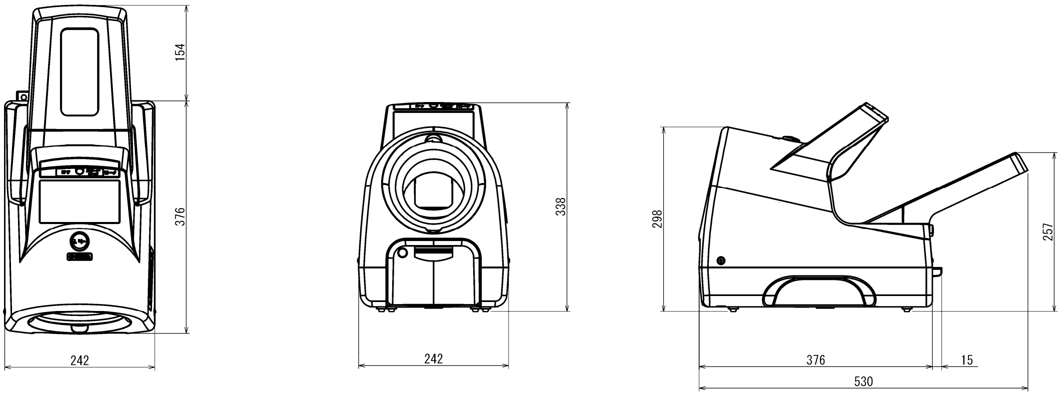
２）“定期点検キット（オプション）“を用いて、お客さま自身で行う。
ただし、行えるのは点検のみです。調整や修理・部品交換は行えません。

17. 主な仕様

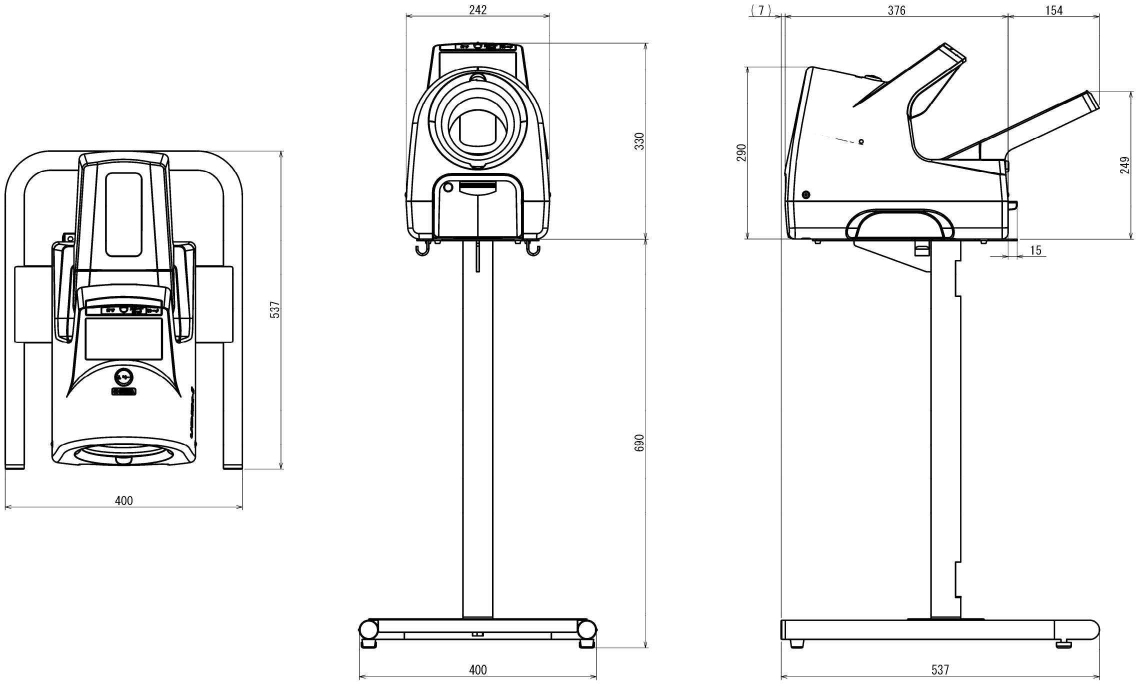
一般的名称	医用電子血圧計　（ＪＭＤＮコード　16173010）
販売名	全自動血圧計　BP-900
型式	BP-900
電源定格	ＡＣ１００Ｖ　５０/６０Ｈｚ　４０ＶＡ
電撃防護型式	クラスⅠ　Ｂ形
適合規格	ＪＩＳ Ｔ １１１５：２００５（非観血式電子血圧計） ＪＩＳ Ｔ ０６０１－１：２００５（安全に関する一般要求事項） ＩＥＣ ６０６０１－１－２：２００４（電磁両立性（ＥＭＣ）要求事項）
測定方式	リバロッチ法　＋　オシロメトリック法
計量範囲/目量	１０～３００mmＨｇ　/　１mmＨｇ
脈拍数測定範囲	３０～２００拍/分
表　示	ＬＥＤデジタル方式
オートペーパーカッター	パーシャルカット方式／フルカット方式
プリンター	ラインサーマルプリンター
音声機能	ＡＤＰＣＭ音声合成方式
通信機能	ＲＳ－２３２Ｃ準拠
カウンター機能	０～９９９９９９回(クリア可能)
使用温湿度	温度　１０～４０℃　　湿度　３０～８５%ＲＨ
保存温湿度	温度－１０～６０℃　　湿度　３０～９５%ＲＨ
輸送温湿度	温度－１０～６０℃　　湿度　３０～９５%ＲＨ
外形寸法	Ｗ２４２mm×Ｄ３７６mm×Ｈ３３８mm
質量	約５．３ｋｇ
認証番号	２２１ＡＩＢＺＸ０００６５Ａ０１
医療機器の分類	管理医療機器（特定保守管理医療機器）
耐用期間	７年（２５万回相当：自己認証基準による）
型式承認番号	第Ｑ０９５０号
非常停止機構	加圧値が３０１mmＨｇ以上、又は測定時間２分３０秒を超えた場合、自動的に測定を中止し、腕帯内の空気が開放されます。その際「最低血圧の表示位置」に“０”が３秒間点滅します。
加圧上限設定	圧迫によるリスクを低減するために、本機は加圧の上限設定を搭載しています(出荷時設定：２２０mmＨｇ）。設定値は変更することができます。詳しくは本紙背面の窓口にお問い合わせください。

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

・外形寸法（本体）



・外形寸法（架台取付時）



※専用架台
材質：　鉄
質量：　約１０ｋｇ

■アフターサービスについて

1．保証書について

保証書は、同封していますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容を良くお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げより１年間です。

2．修理を依頼されるとき

●保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡の上、保証書を添えて本機をお送りください。お客様の個人情報につきましては、弊社個人情報保護方針に基づき正確かつ安全に取扱います。

●保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本機の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3．ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

info: ベストウェイト健康講座 www.best-weight.ne.jp

株式会社 タニタ

本社・東京営業所	〒174−8630	東京都板橋区前野町1−14−2	☎03 (3558)8111(代表)
大 阪 営 業 所	〒577−0013	東大阪市長田中1−3−15	☎06 (6784)2811(代表)
名 古 屋 営 業 所	〒460−0002	名古屋市中区丸の内2−19−20	☎052(201)6391(代表)
福 岡 営 業 所	〒816−0082	福岡市博多区麦野4−2−6	☎092(575)5761(代表)
仙 台 営 業 所	〒983−0852	仙台市宮城野区榴岡1−6−8	☎022(299)7161(代表)
札 幌 営 業 所	〒007−0834	札幌市東区北34条東22−1−35	☎011(786)5611(代表)

ホームページアドレス http://www.tanita.co.jp

お問い合わせ先

フリーダイヤル 0120-133821

受付時間 / 9：00〜18：00（土・日・祝祭日は除く）

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町 1-14-2

【発売元】 株式会社タニタ

【製造販売元】 株式会社エルクエスト
〒286−0204 千葉県富里市大和７４１
ＴＥＬ ０４７６−９３−５８２１

無断複製及び転載禁止

２０１０年２月発行
（Ｍ８６０８８８Ｂ）